

分析項目増えました。



## 血清マルチキャリブレータ 「セロテック」キャリブ-ST

### 特長

- ①複数項目を1液としたキャリブレータで使い勝手アップ
- ②血清ベースで粘度・密度は実試料と同等
- ③上位の標準物質がある項目は不確かさを表記
- ④使いやすい点眼瓶を使用



製品コード	製品内容	包装形態	貯法	有効期限
A244-00	キャリブ-ST	2ml x 3	-20°C以下	製造後1年

## ■使用方法・安定性

- 1) 25～37℃の水浴中で完全に融解させた後、ゆるやかに転倒混和してください。  
あるいは使用前日に冷蔵庫(2～10℃)に静置し、融解させてください。
- 2) 点眼ビンのキャップを開け、サンプルカップ等に分注してご使用ください。
- 3) 融解後は2～10℃保存で2週間安定です。また、凍結融解は5回まで安定です。

## ■使用上の注意

- 1) 原料であるヒトプール血清中のHBs抗原、HIV抗体、HCV抗体は、EIA法にて陰性であることを確認してあります。しかし、ヒト血清に由来する製剤に感染性が全くないことを証明するための方法が、まだ確立されていません。患者血清と同様に注意して取り扱ってください。
- 2) 各成分濃度はロットによって異なりますので注意してください。
- 3) 本品は、アジ化ナトリウムを含有しておりませんので、PODやカタラーゼに対する阻害はありません。
- 4) 製品到着時に融解していた場合でも表示値には影響ありませんが、到着後すみやかに凍結保存してください。
- 5) 参考分析値(表示値)例表中の上位の標準物質とは測定した結果の正確さをトレースするための管理物質を記載しています。

## ■参考分析値(表示値)例

Lot No.30501

項目 (測定法)	表示値	分析値	不確かさ <sup>※</sup>	単位	上位の標準物質
UA (JSCC勧告法)	9.7	9.72	±0.225	mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
UN (ウレアゼ-GLDH・UV法)	30.1	30.12	±0.645	mg/dL	NIST SRM 909c
	30.2	30.2	±0.99	mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
CRE (IDMS法)	9.92	9.92	±0.247	mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
Ca (原子吸光法)	10.0	10.04	±0.091	mg/dL	NIST SRM 956c
	10.0	10.02	±0.108	mg/dL	ReCCS JCCRM321-6
IP (PNP-XOD-POD法)	5.0	5.0			社内基準物質
	5.0	4.99	±0.159	mg/dL	ReCCS JCCRM324-2
Mg (原子吸光法)	5.0	4.97	±0.064	mg/dL	NIST SRM 956c
	5.0	4.98	±0.082	mg/dL	ReCCS JCCRM321-6
GLU (JSCC勧告法)	196	195.7	±2.81	mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
TP (ビuret法)	7.2	7.18	±0.098	g/dL	NIST SRM 927d
ALB (BCG法)	4.8	4.76	±0.164	g/dL	IRMM ERM-DA470k/IFCC
	4.3	4.26	±0.155	g/dL	"
Fe (Nitroso-PSAP法)	198	198.4	±7.87	μg/dL	ReCCS JCCRM322-4
UIBC (Nitroso-PSAP法)	203	202.5	±3.55	μg/dL	JCSS鉄標準液

### ※その他の注意事項

※不確かさの評価および表現は日本臨床検査標準協議会(JCCLS)・認証委員会標準物質小委員会、(社)日本臨床検査薬協会(JACRI)・技術委員会報告の『企業が表示値と不確かさをキャリブレーションに表示するためのガイドライン』(平成17年1月初旬)に基づいて表記しております。  
なお、表記した不確かさは包含係数k=2(95%信頼区間)を使用しております。

## ■参考データ

	キャリブ-ST	プール血清
密度(ピクノメーター、25℃)	1.024g/cm <sup>3</sup>	1.023g/cm <sup>3</sup>
粘度(ウヘローテ粘度計、25℃)	1.80mPa·s	1.70mPa·s



株式会社 セロテック

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

お問い合わせ先 企画開発室 E-mail kikaku@serotec.co.jp